フォトニュース







年に1度の映画の祭典が今年も！

第29回 小津安二郎記念・蓼科高原映画祭

9月26日～27日、第29回小津安二郎記念・蓼科高原映画祭が開催された他、26日には、新星劇場で、第25回短編映画コンクール表彰式が開催されました。

オープニングセレモニーでは、短編映画コンクールの審査員長を長年務め、今回退任する伊藤　俊也監督に感謝状が贈られました。

今年の短編映画コンクールでは、全国から100作品の応募があった中から9作品がノミネートされました。入賞作品などが発表される中、グランプリは該当がなく、準グランプリには、浅井 直樹監督の「アナログ協奏曲」および、三好 紗椰監督とカワノヨウタ監督の「太田の普通の使い方」の2作品が選ばれました。

また、茅野市民館の中庭で、「ちのの休日」も同日開催されており、映画に親しみながら多くの方が盛り上がる一日となりました。



里山に点在する古墳を巡る

永明寺山ふれあいウォーク

10月17日、永明寺山にて、永明寺山ふれあいの森を創る会主催の「永明寺山ふれあいウォーク」が開催されました。

当日は14名が参加し、里山歩きや古墳めぐりを楽しみました。今年は文化財課の学芸員も同行し、永明寺山や周辺に点在する古墳について専門的な解説が行われ、参加者からは質問が相次ぐなど、終始にぎやかな散策となりました。

参加者からは「今まで知らなかったことを知ることができて楽しかった。こうした機会があればまた参加したい」との声も聞かれ、大いに盛り上がる一日となりました。



市長と地域の皆さんが膝を交えて語り合う

まちづくり懇談会（通称「まち懇」）の開催

9月30日～11月6日、各地区コミュニティセンター等を会場に、令和8年度まちづくり懇談会が開催されました。

今年は「私たち一人ひとりがつくる茅野市の未来」をテーマに、今井市長、山田教育長、市社協の竹内事務局長、諏訪中央病院の佐藤院長・今井統括院長が、人口減少や超高齢化社会を見据えた市政・福祉・医療・教育の各分野の課題等について説明し、これからのまちづくりについて、参加された地域の皆さんと活発な意見交換が行われました。



あそびのまちに笑顔があふれる

第42回茅野市こどもまつり

9月12日、茅野駅周辺をメイン会場に「第42回茅野市こどもまつり」が開催され、多くの親子連れで賑わいました。

こどもまつりは、子どもたちが「たくましく、やさしい、夢のある子ども」に成長することを願って、地域の子育て団体や住民の方々、企業など、様々な立場や分野から積極的な協力を得ながら開催しており、当日も33の団体がブースを出展しました。

さらに今年は新たな取り組みとして、「どんぐりフェスタ2026」も同日開催され、子どもたちを真ん中に、地域やまち全体がひとつになる一日となりました。当日は、およそ1,100人が来場し、茅野駅周辺には、あそびやものづくり、様々な体験コーナーを楽しむ子どもたちのはじけるような笑顔と歓声が広がりました。







事故が起きない地域を目指して安全運転を呼びかけ

秋の全国交通安全運動　出陣式＆街頭指導

9月18日の朝、茅野警察署で「秋の全国交通安全運動」の出陣式が行われました。

式後は、白バイやパトカー、市の交通安全車、交通安全協会茅野支部の広報車が市内に向け出発し、ビーナスラインや茅野駅周辺で広報活動を実施しました。署北側のビーナスラインでは、信号待ちのドライバーに啓発品を配り、安全運転を呼びかけました。

交通安全運動は季節ごとに実施しており、年末の交通安全運動に向けても引き続き啓発活動を行っていきます。



エネルギー自給率250%の究極のエコハウス

「金山デッキ」市民向け見学会

9月12日、湖東金山に佇む「金山デッキ」の市民向け見学会が開催され、エコハウスに関心を持つ多くの方が参加しました。

「金山デッキ」は、市の環境分野における行政アドバイザーを務める小林 光氏が、住宅における脱炭素の具現化を目指して手がけた住居です。屋根に搭載した太陽光パネルによる発電に加え、高断熱構造の採用や、日射・室内空気の流れ・発電効率まで緻密に計算された、まさに“究極のエコハウス”となっています。